

第21回 健康・医療・介護情報利活用検討会
医療等情報利活用ワーキンググループ(持ち回り開催)
2024(令和6)年3月27日

電子カルテ情報共有サービスにおける変更点について

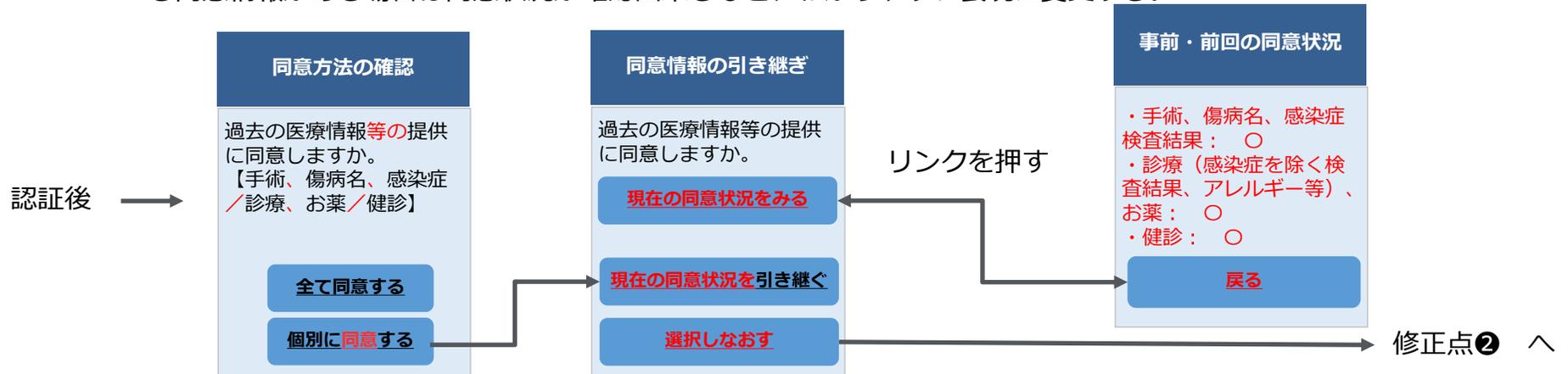
厚生労働省医政局

特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室

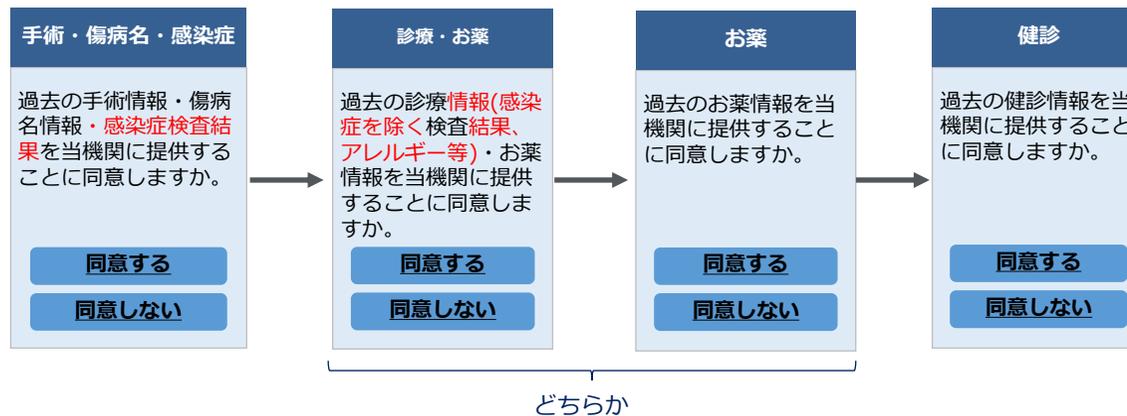
顔リーダーの仕様変更について

同意の引き継ぎや個別同意画面について現場の運用を踏まえて仕様変更を行う。

修正点① 同意方法の確認について、まずは一括同意が行えるようにし、個別に同意を選択する場合に、既に登録されている同意情報がある場合は同意状況が確認出来るなど、わかりやすい表現に変更する。

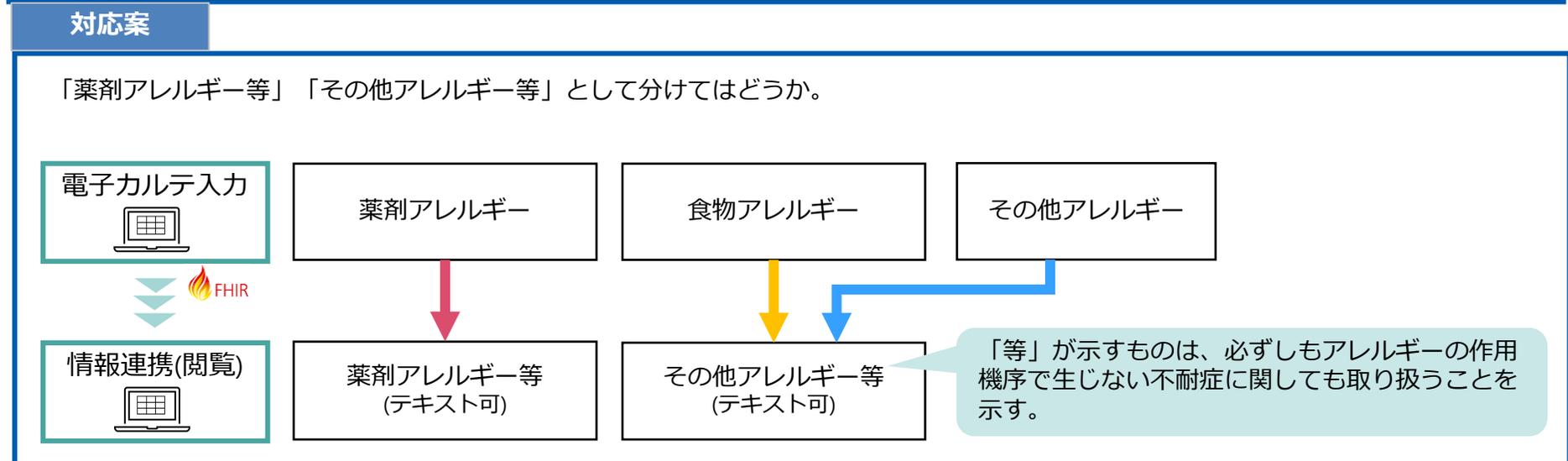
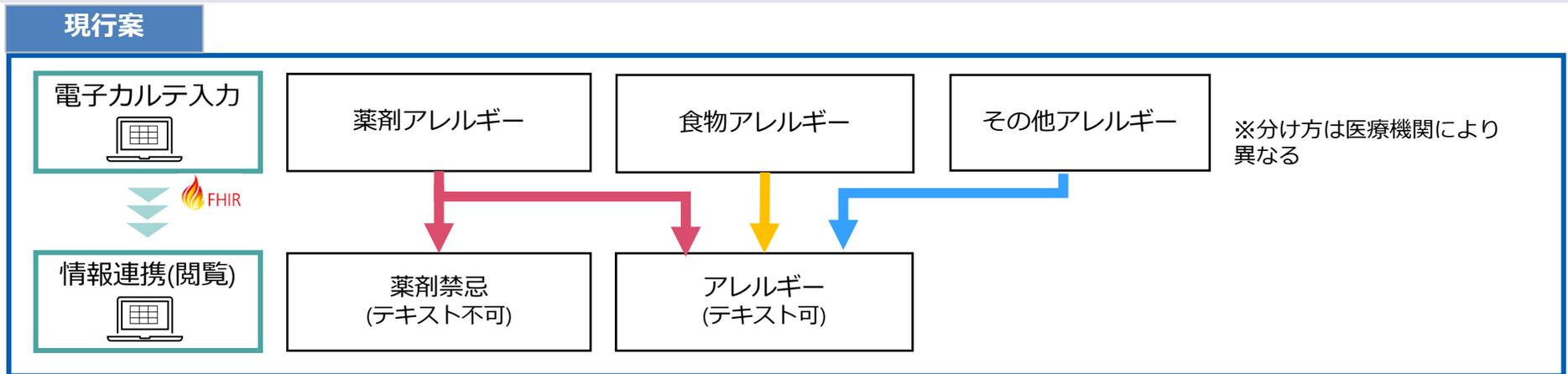


修正点② 個別同意画面で「感染症」と「傷病名・手術」情報をまとめて1画面で同意を取得し、患者の画面遷移を変更。



薬剤禁忌・アレルギーについての分け方について

- ・医療の質・安全学会および日本医療情報学会より、現場の運用を勘案し、電子カルテ情報共有サービスで取り扱う「薬剤禁忌」「アレルギー」情報について薬剤に関する情報が分散してしまうことについて課題を示されたことから、下記の対応とする。
- ・アレルギー以外の機序による不耐症等も登録対象とし、今後医療機関での運用を検討することとする。



分類変更に伴う記載方法や表示方法の変更に関して

薬剤等をテキストで入力する場合も、メタコード等（ダミーコードを含む）を付与することとする。

識別	category要素	criticality要素	コード種別	テキストについて	その他特記事項
薬剤アレルギー等情報	medication biologic	high low unable-to-assess 値なし(要素なし)	3桁のメタコード※ + YJコード(一般名処方マスタ) ※その他アレルギーのコード体系と互換性をもたせるためメタコードを付与する	コードで入力できない場合は、ダミーコードを付与し、テキストを入力。	YJコードは medicationで入れる (biologicの運用は別途検討)
その他アレルギー等情報	food environment 値なし(要素なし)		J-FAGYコード ※運用方法や対応については今後検討		

それぞれの要素の具体的な運用、その他の要素の使用方法については別途厚労科研等で検討し、一定の方向性を示す予定。

PDFの表示イメージ

薬剤アレルギー等情報（不耐症等、アレルギーによらないものも含む）

登録日	薬剤名	登録日の状況	重症度	症状	医療機関名	長期保存フラグ

その他アレルギー等情報（不耐症等、アレルギーによらないものも含む）

登録日	カテゴリ	アレルギーの原因等	登録日の状況	重症度	症状	医療機関名	長期保存フラグ

■ PDFに含まれる情報について

- カテゴリ(食物・環境等) ※その他のみ
- 登録日の状況(現存・非現存・解消)
- 重症度(高・低・評価不能)
- 症状(病名・テキスト等)
- 長期保存フラグの対象有無

参考資料



薬剤禁忌・アレルギーの運用上の整理について

電子カルテ情報共有サービスにおける薬剤禁忌については、患者特有のアレルギー情報について記載することとし、病名禁忌や妊娠等の状態による禁忌は取り扱わないものとする。下記課題については、システム開発と並行して検討を行う予定。

	課題	対応（案）															
①	薬剤禁忌（アレルギーによるもの）の定義	<p>下記の要素（category要素=medication、criticality要素=high）を指定した場合を薬剤禁忌（アレルギーによるもの）として取り扱う。</p> <table border="1" data-bbox="777 506 1819 799"> <thead> <tr> <th>識別</th> <th>category要素</th> <th>criticality要素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤禁忌情報</td> <td>medication</td> <td>high</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">アレルギー情報</td> <td>medication</td> <td>high以外(値なし含む)</td> </tr> <tr> <td>medication以外</td> <td>high</td> </tr> <tr> <td>medication以外</td> <td>high以外(値なし含む)</td> </tr> <tr> <td>値なし（要素なし）</td> <td>値なし（要素なし）</td> </tr> </tbody> </table> <p>criticality要素をhighとする基準(アナフィラキシー等の症状の有無等)については、運用面での観点から検討が必要。薬剤禁忌・アレルギーを判断した情報源(自己申告を含めるか)も含めて関係団体と運用面での検討を行い、一定の方向性を示す予定。</p>	識別	category要素	criticality要素	薬剤禁忌情報	medication	high	アレルギー情報	medication	high以外(値なし含む)	medication以外	high	medication以外	high以外(値なし含む)	値なし（要素なし）	値なし（要素なし）
識別	category要素	criticality要素															
薬剤禁忌情報	medication	high															
アレルギー情報	medication	high以外(値なし含む)															
	medication以外	high															
	medication以外	high以外(値なし含む)															
	値なし（要素なし）	値なし（要素なし）															
②	アレルギー情報の入力方法(情報の粒度等)	<p>薬剤禁忌の情報を入力するうえでの記載ルール（患者の反応の程度や症状等）J-FAGYを運用するうえでのルール（記載の粒度感等）については、医療安全や医療情報の管理の観点から検討を行い一定の方向性を示す予定。</p>															
③	薬剤情報の粒度	<p>系統、一般名、薬剤名等、様々な粒度で現場では入力されている。 (例)セフェム系 薬剤の系統については現状マスターがないため、アレルギー情報にテキスト入力を行うことで対応してはどうか。</p>															

顔リーダーの改修事項について

基盤WGや医療等WGでこれまで検討を踏まえ、顔リーダーの閲覧同意に係る画面遷移を示す。患者は各医療機関毎に同意を設定する。

開始 → 本人認証 → 閲覧同意確認 → 資格確認

〇〇〇〇〇〇病院
マイナンバーカードを置いてください。

本人確認の方法を選んでください。

顔認証を行う

暗証番号を入力

終了する

本人確認の情報は、他の目的には使用しません。

顔を枠内に入れてください。

暗証番号を入力してください。

1 2 3
4 5 6
7 8 9

(1)包括同意・同意継承

同意方法の確認

以下の過去の医療情報を当医療機関に提供することに同意しますか。
・手術・傷病名
・感染症
・...

全て同意する

個別に選択する

同意情報の引き継ぎ

過去の医療情報等の提供に関する同意について、事前もしくは前回登録した内容を引き継ぎますか。

引き継ぐ

選択しな

(1)初めての場合は同意方法確認画面、次回以降は同意情報引き継ぎ画面となる。
※医療機関の取得設定の変更や電子カルテ情報共有サービスの対応で(2)個別同意の項目が変更になる場合は、「同意方法の確認」で選択する。

医療機関は、取得する情報について利用の有無を選択できる。

閲覧同意の利用有無(情報の利用有無)

* 手術・傷病名情報: 利用する

* 感染症情報: 利用する

* 薬剤・処方情報: 利用する

* 診療・アレルギー・お薬禁忌・検査・お薬情報: 利用する

* 健診情報: 利用する

* 特定疾病療養受療証: 利用する

電子カルテ情報共有サービス関連項目

* 電子カルテ情報共有サービス: 利用する

(2)6情報閲覧同意追加・変更 (電子カルテ情報共有サービス導入済)

文言変更	新規追加	文言変更	お薬	健診
手術・傷病名	感染症	診療・アレルギー・お薬禁忌・検査・お薬	お薬	健診
過去の手術情報・傷病名情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去の感染症情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去の診療・アレルギー・お薬禁忌・検査・お薬情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去のお薬情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去の健診情報を当機関に提供することに同意しますか。
同意する 同意しない	同意する 同意しない	同意する 同意しない	同意する 同意しない	同意する 同意しない

どちらか

(2)個別同意については、各画面毎に同意設定する。

(2)6情報閲覧同意追加・変更 (電子カルテ情報共有サービス未導入)

手術	診療・お薬	お薬	健診
過去の手術情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去の手術以外の診療・お薬情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去のお薬情報を当機関に提供することに同意しますか。	過去の健診情報を当機関に提供することに同意しますか。
同意する 同意しない	同意する 同意しない	同意する 同意しない	同意する 同意しない

どちらか

(3)診療情報提供書提供同意 (電子カルテ情報共有サービス導入済)

診療情報提供書受付

提出する紹介状をすべて選択してください。1/X

発行日 X/X
〇〇病院 △△科

発行日 X/X
〇〇病院 ▲▲科

次ページへ

●●×様 確認が完了しました。

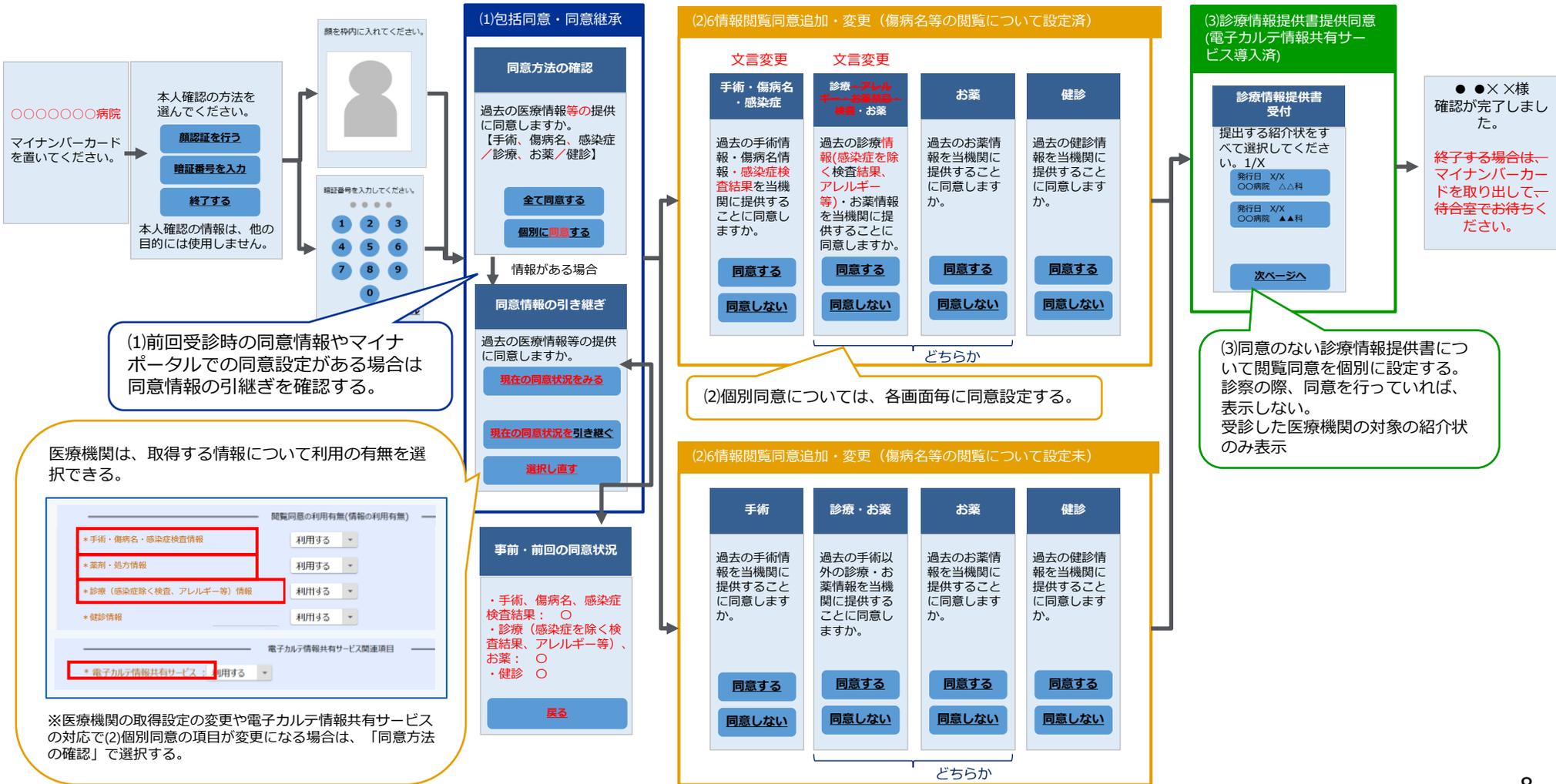
終了する場合は、マイナンバーカードを取り出し、待合室でお待ちください。

(3)同意のない診療情報提供書について閲覧同意を個別に設定する。診察の際、同意を行ってれば、表示しない。受診した医療機関の対象の紹介状のみ表示

顔リーダーの改修事項について

基盤WGや医療等WGでこれまで検討を踏まえ、顔リーダーの閲覧同意に係る画面遷移を示す。患者は各医療機関毎に同意を設定する。

開始 → 本人認証 → 閲覧同意確認 → 資格確認



3文書6情報の概要

3文書

No	文書項目	概要	記述仕様	宛先指定	添付	電子署名	保存期間
1	健康診断結果報告書	特定健診、事業主健診、学校職員健診、人間ドック等を対象	HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR記述仕様	なし	可能	不要	オンライン資格確認等システムに5年間保存
2	診療情報提供書	対保険医療機関向けの診療情報提供書を対象	HS038 診療情報提供書 HL7FHIR記述仕様	必須	可能	任意	電子カルテ情報共有サービスに6か月間保存。 但し、紹介先医療機関等が受領した後は1週間程度後に自動消去。
3	退院時サマリー	退院時サマリーを対象 ※診療情報提供書の添付(任意)としての取り扱い	HS039 退院時サマリー HL7FHIR記述仕様	なし	可能	不要	

6情報

No	情報項目	概要	対象となるFHIRリソース	主要コード	長期保管フラグ	未告知/未提供フラグ	顔リーダー閲覧同意区分	保存期間(電カル共有)	保存期間(オン資)
1	傷病名	診断をつけた傷病名	Condition	レセプト電算処理マスターの傷病名コード ICD10対応標準病名マスターの病名管理番号	あり	あり	傷病名 +手術情報	オン資格システムにデータ移行した時点から1週間程度後に消去	5年間分
2	感染症	検査した梅毒STS、梅毒TP、HBV(B型肝炎)、HCV(C型肝炎)、HIVの結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある JLAC(10/11) コード	あり	—	感染症情報		5年間分
3	薬剤禁忌(アレルギーによるもの)	診断をつけた薬剤禁忌情報(医薬品(ハイリスク))	Allergy Intolerance	YJコード	あり	—	電子カルテ情報		5年間分
4	アレルギー	診断をつけたアレルギー情報(食品・飲料、医薬品(ハイリスク除く)、環境、生物学的アレルギー等)	Allergy Intolerance	J-FAGYコード テキスト (J-FAGYで表現できないものはテキスト入力する)	あり	—			5年間分
5	検査	臨床検査項目基本コードセット(生活習慣病関連の項目、救急時に有用な項目)で指定された43項目の検体検査結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある JLAC(10/11) コード	—	—	1年間分 もしくは 直近3回分		
6	処方	※直接登録は行わない(文書から抽出した処方を取り扱う)	Medication Request	YJコード	—	—	100日間分 もしくは 直近3回分		

3文書6情報の概要

No	文書項目	概要	記述仕様	宛先指定	添付	電子署名	保存期間
1	健康診断結果報告書	特定健診、事業主健診、学校職員健診、人間ドック等を対象	HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR記述仕様	なし	可能	不要	オンライン資格確認等システムに5年間保存
2	診療情報提供書	対保険医療機関向けの診療情報提供書を対象	HS038 診療情報提供書 HL7FHIR記述仕様	必須	可能	任意	電子カルテ情報共有サービスに6か月間保存。 但し、紹介先医療機関等が受領した後は1週間程度後に自動消去。
3	退院時サマリー	退院時サマリーを対象 ※診療情報提供書の添付(任意)としての取り扱い	HS039 退院時サマリー HL7FHIR記述仕様	なし	可能	不要	

No	情報項目	概要	対象となるFHIRリソース	主要コード	長期保管フラグ	未告知/未提供フラグ	顔リーダー閲覧同意区分	保存期間(電カル共有)	保存期間(オン資)
1	傷病名	診断をつけた傷病名	Condition	レセプト電算処理マスターの傷病名コード ICD10対応標準病名マスターの病名管理番号	あり	あり	傷病名 +手術情報 +感染症		5年間分
2	感染症	検査した 梅毒STS、梅毒TP、HBs(B型肝炎)、HCV(C型肝炎)、HIVの分析物に関する検査結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある JLAC(10/11) コード	あり	-			5年間分
3	薬剤アレルギー等 (アレルギーによるもの)	診断をつけた薬剤 禁忌アレルギー 等情報 (医薬品(ハイリスタ) 、 生物学的製剤)	Allergy Intolerance	YJコード (及び派生コード*) テキスト (※銘柄を指定できない場合に限り、下3桁をzzz (一般名処方マスターに相当) で記載する。先頭にメタコードを付与する)	あり	-	診療+お薬 +アレルギー等 +検査	オン資格システムにデータ移行した時点から1週間程度後に消去	5年間分
4	その他アレルギー等	診断をつけた 薬剤以外のアレルギー 等情報 (食品・飲料、 医薬品(ハイリスタ除く) 、 環境 、 生物学的アレルギー 等)	Allergy Intolerance	J-FAGYコード テキスト (J-FAGYで表現できないものはテキスト入力する)	あり	-			5年間分
5	検査	臨床検査項目基本コードセット(生活習慣病関連の項目、救急時に有用な項目)で指定された43項目の検体検査結果	Observation	臨床検査項目基本コードセット内にある JLAC(10/11) コード	-	-	1年間分 もしくは 直近3回分		
6	処方	※直接登録は行わない (文書から抽出した処方は取り扱い)	Medication Request	YJコード (及び派生コード*) (※銘柄を指定できない場合に限り、下3桁をzzz (一般名処方マスターに相当) で記載する)	-	-	100日間分 もしくは 直近3回分		